

公開研究会当日の日程及び内容等について

8:30	9:00	10:00	11:20	12:30	13:15	15:00	16:30	16:45
受付	全体会 基調発表	公開授業Ⅰ 及び 意見交換会	授業説明 及び 公開授業Ⅱ	昼食	学部別研究会 学校保健研究発表会	講演会	諸 連絡	
	9:40	11:10			14:45			

※高等部公開授業Ⅰ・Ⅱは、市内商店街での公開を予定しております。授業場所までは、貸切バスを運行いたします（バスで片道10分程）
高等部の授業を参観される場合、公開授業Ⅰ・Ⅱとも高等部の授業を参観していただくことになります。ご了承ください。

全体会 基調発表 9:00～9:40

公開授業Ⅰ 10:00～

	授業名	授業概要	授業者
小学部	とぼう けろう なげよう	トランポリン、シュートゲーム、的当てなどのコーナーを回って、思い切り体を動かす。光や音で運動の結果が表れることで意欲的に体を動かしたり、難易度が異なる用具を使用して自分に合った課題に取り組んだりする中で、跳ぶ、ける、投げるなどの運動の技能を高める。	今 泰幸 五明 智宏 長田 紗綾
小学部	えほんをつくろう	興味や関心のある物の絵や写真から思い浮かべたことを文字で書き表して、自分だけの絵本を作る。平仮名カードを操作して音と文字の対応を確かめ、運筆を擬音化して正しい字形を捉えながら絵本のページに書き込む。その中で、平仮名を書くことの楽しさを味わう。	橋本 和也
中学部	群大附特 農耕班 ～秋野菜を 収穫しよう～	学校の農場で野菜を収穫し、販売の準備を行う。手順表をもとに野菜を洗ったり、規定の量に合わせて袋詰めしたりする。自分で育てた野菜が商品になるという見通しを持つことで、「おいしい野菜を作ろう」という気持ちを高め、自分の仕事に最後まで取り組むことを目指していく。	南雲 亮太 山田 雅之 大森 礼
高等部	群大附特 ビルメンチーム	本校が運営する「群大附特カフェ スマイル」店内の清掃を行う。効率良く作業をするために清掃用具を決められた手順で扱うことや、役割を分担して作業をする上での連絡・報告の仕方を学ぶ。前橋市の職員と作業する中で、社会の一員として役割を果たす意義を捉える。	小須田 稔 戸所 啓子
高等部	群大附特 園芸班	これまで育ててきた花をプランターに寄せ植えして、地域の商店街に設置する。花の維持・管理をする中で、丁寧に作業することの大切さを学ぶ。地域の方の感謝や助言を受けて、作業の成果が地域で役立つことを捉え、主体的に作業に取り組んでいく。	井上 潤 坂井 水稀

意見交換会 公開授業Ⅰの終了後～11:10

公開授業Ⅰについて、教材や環境構成の工夫、支援の意図などについて、授業者が説明します。参会者の方と意見を交換し合いながら、明日のよりよい授業を考えていく機会としたいと考えております。

授業説明及び公開授業Ⅱ 11:20～12:30

	授業名	授業概要	授業者
小学部	しらべよう くらべよう	附属小学校4年生との交流及び共同学習において、友だちが設定した量と等しくなるように水の量を調整するゲームを行う。これまでに学んだ量の保存性や加法性等を生かして、量を比較する経験を積み重ね、量の感覚を豊かにしていく。	宇佐美多恵子 内田 誠
中学部	ステキなキャンドル をつくろう	近隣の中学校特別支援学級の生徒と共同でキャンドルの製品を作る。「～さん、上手だね」「～さん、ここどうするの?」「～さんよりたくさん作ろう」とやりとりをしながら作業を行う中で、相手の良さに気づき、お互いを認め合うことを目指していく。	松尾 英知 水落 公美子
高等部	群大附特カフェ スマイル	地域の商店街に開いた喫茶店で飲み物を提供する。コーヒー専門店の方の指導の下、品質の向上を目指し、豆を挽いてコーヒーを淹れる中で、手順を守ることを大切さを学ぶ。お客様から見えるキッチンで活動することで、望ましい振る舞い方も身に付けていく。	新井 洋美 高橋 源太郎

今年度の研究テーマに迫るために

本校では、日々の授業実践を子どもの地域社会への参加につなげるために、以下の3つの視点で研究に取り組んできました。

- ・日々の指導・支援を踏まえた「合理的配慮の提供」の考え方
- ・一貫性と継続性のある支援のための評価の在り方
- ・関係機関とのさらなる連携を図るための情報提供の在り方

これらの視点について、授業実践をとおして協議していきたいと考えています。

学部別研究会 13:15～14:45

全員で参加していただくワークショップ型の研究会を行います。主な流れは、以下のとおりです。

- 公開授業Ⅱについての授業説明、公開授業Ⅱをベースとした研究内容の提案
- 6人程度のグループで協議、協議内容の発表、発表を聞いての振り返り
- 指導助言

各学部の提案及び協議内容は以下のようになります。

	提案及び協議内容	指導助言者（敬称略）
小学部	交流及び共同学習における合理的配慮の提供の過程を、授業実践をとおして明らかにしてきた。研究会では、本校が明らかにしてきた合理的配慮の提供の過程を基に、学校間交流や居住地校交流などで、子どもが日々の学びを生かして活動するために必要な視点について協議していく。	久田 信行（群馬大学） 中村 保和（群馬大学）
中学部	個別の指導計画や個別の教育支援計画に積み重ねた学習の評価や、家庭からの情報の中から、授業に必要な子どもの実態や有効な支援を確認し、授業づくりに反映してきた。研究会では、合理的配慮の提供に向けた学習の評価の在り方や情報を整理して蓄積する方法について協議していく。	浦崎 源次（群馬大学） 城田 謙司（群馬県総合教育センター）
高等部	本校で取り組んでいる複数の作業学習間の連携を図り、全生徒が地域に出て実際の状況で活動を行ってきた。その中で、一人一人の特性を明確化し、それに応じた支援を実践してきた。研究会では、卒業後に適切な合理的配慮の提供が行われるような情報提供の在り方について協議していく。	金澤 貴之（群馬大学） 中原 泉（社会福祉法人一越会）

学校保健研究発表会 13:15～14:45

	発表及び協議内容	司会者（敬称略）
	卒業後の健康管理に必要な能力と態度の育成 ～肥満指導の取組をとおして～	青柳 千春（桐生大学）
	子どもが自ら健康管理をしていくことを目指して、家庭と連携して取り組んだ肥満指導の成果と課題を報告します。その後、健康の保持増進に必要な態度を養うための支援と、養護教諭と家庭が連携する上で大切な視点について協議していきます。発表：相京奈々子（本校養護教諭）	指導助言者（敬称略） 吉野 浩之（群馬大学） 小林 幸恵（群馬県教育委員会）

講演会 15:00～16:30

演題「インクルーシブ教育システム構築と特別支援教育の推進」 ～共生社会の形成に向けた支援の充実～

講師

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

教育支援部長/上席総括研究員

尾崎 祐三 先生

共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システムを構築していくために、特別支援学校における日々の指導及び支援をどのように推進していくのか、合理的配慮の提供という視点で具体的な実践例を交えながら講演いただきます。

○公開研究会についての最新情報につきましては、

本校webページ <http://shc.edu.gunma-u.ac.jp/> にて随時情報を更新していきますので、ご覧ください。